

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-172754
(P2022-172754A)

(43)公開日 令和4年11月17日(2022.11.17)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 M 11/00 (2006.01)	H 0 4 M 11/00 3 0 1	4 C 3 4 1
A 6 1 G 12/00 (2006.01)	A 6 1 G 12/00 E	5 K 2 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 14 頁)

(21)出願番号	特願2021-78925(P2021-78925)	(71)出願人	515263303 株式会社リンクジャパン 東京都港区芝四丁目7番1号6階
(22)出願日	令和3年5月7日(2021.5.7)	(74)代理人	110002789 弁理士法人IPX
		(72)発明者	河千泰 進一 東京都港区芝四丁目7番1号6階 株式会社リンクジャパン内
		(72)発明者	王 慧芝 東京都港区芝四丁目7番1号6階 株式会社リンクジャパン内
		Fターム(参考)	4C341 LL10 5K201 BA02 BA19 CA01 CA06 EB06 EC06 ED04 EF10

(54)【発明の名称】 情報処理システム、情報処理方法及びプログラム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 複数の相手と通話可能な情報処理システム、方法及びプログラムを提供する。

【解決手段】 介護システム1000において、情報処理装置100の制御部は、第1の端末装置の接続ボタン選択に基づく接続要求を受け取った場合、設定された複数のユーザーの通信端末装置それぞれに対して無線通信を介して呼び出しを行う。複数のユーザー（介護者）のうちの第1のユーザーが呼び出しに応答した場合、それ以外のユーザーに対する呼び出しを終了し、第1の端末装置（通信装置110）と第1のユーザーの通信端末装置を接続することで、通話可能となる。第1のユーザーの通信端末装置から追加接続要求を受け取った場合、追加接続要求に含まれる接続先情報に基づき、第1の端末装置と、第1のユーザーの通信端末装置と、第2のユーザーの通信端末装置と、を接続することで、第1の端末装置のユーザーと、第1のユーザーと、第2のユーザーとが通話可能となる。

【選択図】 図1

